

第52回 三重県透析研究会学術集会

プログラム



会期

平成27年 2月1日(日)

会場

三重大学医学部
総合医学研究棟(臨床講義棟)

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174

代表世話人

小藪 助成 尾鷲総合病院 副院長

第52回
三重県透析研究会学術集会

プログラム

会期

平成27年 2月1日(日)

会場

三重大学医学部
総合医学研究棟(臨床講義棟)

〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174

代表世話人

小藪 助成 尾鷲総合病院 副院長

アクセスマップ



■ 電車の場合

- 近鉄名古屋線「江戸橋駅」下車。附属病院まで徒歩10分。総合研究棟まで徒歩20分。
※江戸橋には急行が停車します
- 江戸橋駅にはタクシー乗り場はありません。

■ タクシーの場合

- 近鉄名古屋線もしくはJR紀勢本線「津駅」下車。 ※いずれも特急が、JRの快速「みえ」も停車します。
- 「津駅」東口(JR側)からタクシーで2.8km (1,000円程度)
- 総合研究棟Iへは「三重大学南門」からと運転手さんに指示してください。

■ バスの場合

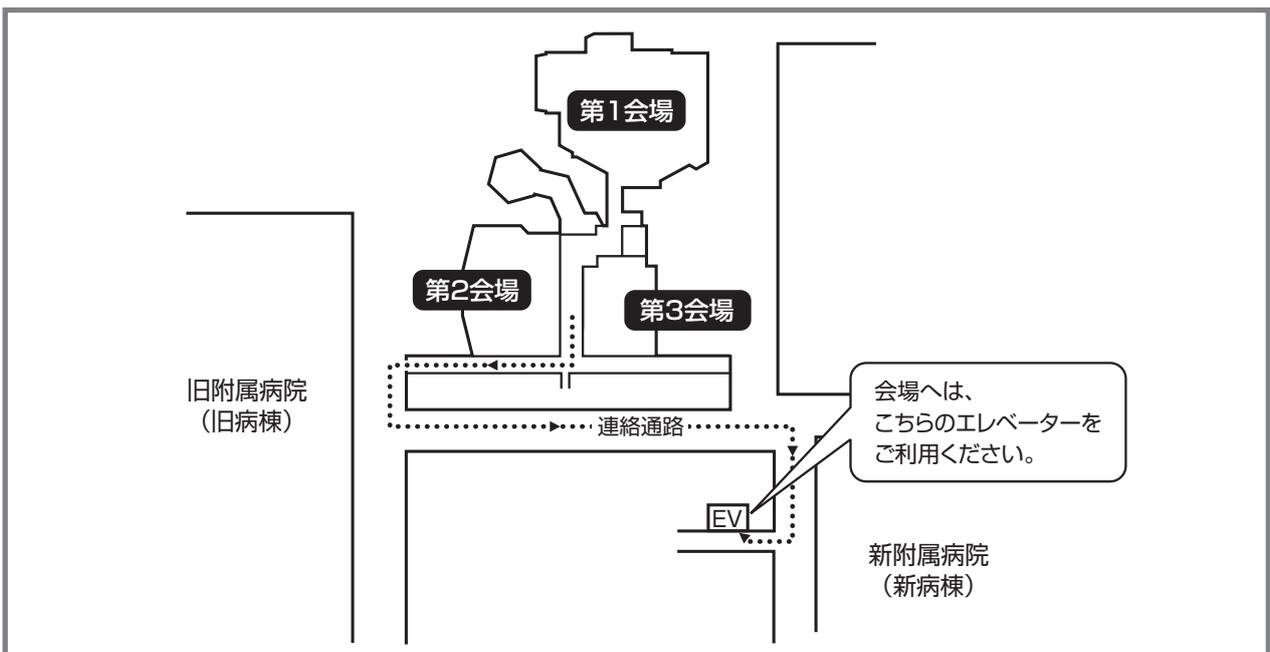
- 三重交通バス
大学病院バス停下車すぐ
- 三重交通バス
大学病院前バス停下車徒歩3分

| バスの行き先 | 降りるバス停 |
|--------------------------------------------------------------|----------------|
| 大学病院行 | 大学病院 |
| 蛭本行 | 大学病院 または 大学病院前 |
| 関バスセンター行 豊里ネオポリス行 高田高校行 一身田行 三行行 白塚駅行 太陽の街 | 大学病院前 |

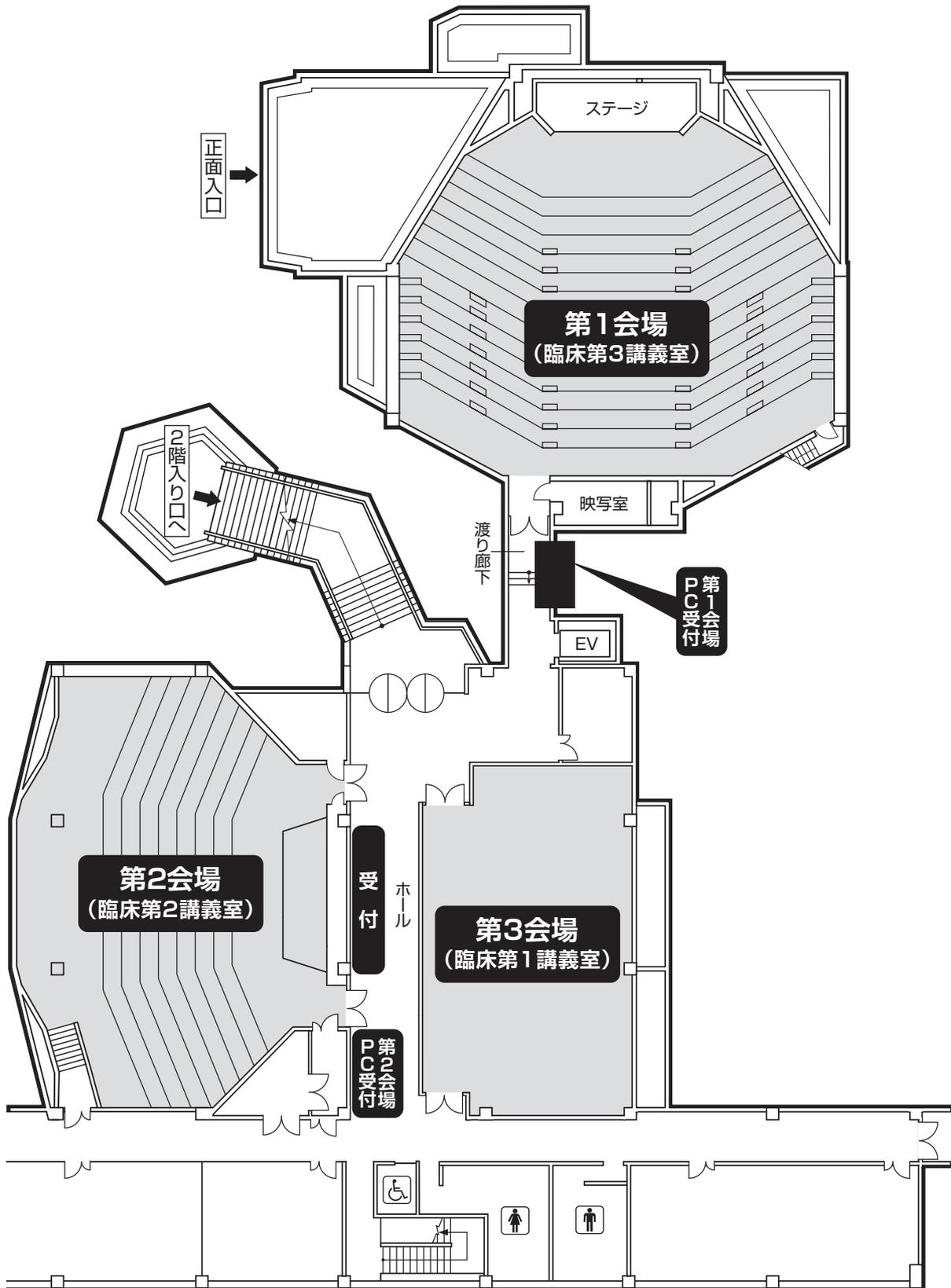
キャンパスマップ



代表者会議会場(12階三医会ホール)



会場案内



日 程 表

| | 第 1 会場 臨床第3講義室 | 第 2 会場 臨床第2講義室 | 第3会場 臨床第1講義室 | 会議室 三医会ホール |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|---------------------|
| 8:50 | 8:50～ 受付開始 | | | |
| 9:00 | 9:10～ 開会挨拶 | | 9:10～ 搬入・展示準備 | |
| 10:00 | 9:20～10:20 看護師・管理栄養士 一般演題 1 6演題 | 9:20～10:20 臨床工学技士 一般演題 1 6演題 | 9:20 } 15:00 | |
| 11:00 | 10:20～11:20 看護師 一般演題 2 6演題 | 10:20～11:10 臨床工学技士 一般演題 2 5演題 | 企 業 展 示 | |
| 12:00 | 11:30～ パネルディスカッション バスキュラーアクセスについて 理解を深めよう 司会：小藪 助成先生（尾鷲総合病院） | | | |
| 13:00 | 12:20～13:10 ランチョンセミナー1 透析医療における 臨床研究の進め方 伊藤 正幸先生（中外製薬株式会社 名古屋メディカル推進室） 協賛：中外製薬株式会社 | 12:20～13:10 ランチョンセミナー2 透析困難症に対する モニタリングとI-HDFの効果 長尾 尋智先生（メディカルサテライト岩倉 看護部長、透析室長） 協賛：旭化成メディカル株式会社 | | 12:20～ 代表者 会議 |
| 14:00 | 13:20～14:20 看護師 一般演題 3 6演題 | 13:20～14:50 医 師 一般演題 1 9演題 | | |
| 15:00 | 14:20～15:00 臨床工学技士 一般演題 3 4演題 | | | |
| 16:00 | 15:10～16:00 特別講演 在宅血液透析のすすめ ～自分らしく生きるために～ 畠山 岳士先生（第二富田クリニック） | | 15:00～ 片づけ・ 撤収 | |
| | 16:00～ 表彰式・閉会式 | | | |

プログラム

第1会場（臨床第3講義室）

開会挨拶 9:10～9:20 代表世話人 小藪 助成（尾鷲総合病院 副院長）

看護師・管理栄養士 一般演題1 9:20～10:20

座長：佐藤 恵里（特定医療法人暁純会 武内病院 人工腎センター）

1-1 血清リンについての意識調査を行って

○北川 勝久(Ns)、川畑 眞由美、高嶋 恵子、益子 久美、山内 晴香、添田 千恵子
名張市立病院

1-2 リオナ錠内服における臨床症状についての検討

○菅沼 則子(Ns)¹、中田 敦博²、藤田 佳樹¹、小林 薫¹、吉見 美穂子¹、出岡 悦子¹、
伊藤 英明子²、岩島 重二郎²、伊藤 豊¹、河出 恭雅²、河出 芳助²
1) 四日市腎クリニック、2) 鈴鹿腎クリニック

1-3 高リン血症患者への指導の見直し

○山中 順子(Ns)、山内 育美、山口 裕子、大橋 真理、今村 瞳、早川 歌奈子、竹重 信
医療法人徳心会 四日市セントラルクリニック

1-4 高リン血症患者の原因把握と対策

○佐野 歩美(RD)¹、徳永 千賀¹、中村 奈美¹、山本 和昇¹、中田 敦博¹、伊藤 英明子¹、
岩島 重二郎¹、伊藤 豊²、河出 恭雅¹、河出 芳助¹
1) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2) 医療法人如水会 四日市腎クリニック

1-5 糖尿病性腎症、肥満患者への行動変容の取り組みを行った1例

○伊藤 真奈美(Ns)、森本 敏江、佐治 好紀、安藤 友紀、橋本 真理、竹重 信
医療法人徳心会 四日市セントラルクリニック

1-6 「認知症のある患者の看護」 アロマセラピーを取り入れて

○有木 美佐(Ns)、上野 千早、白倉 ふくみ、向井 三枝
公立紀南病院

看護師 一般演題2 10:20～11:20

座長：後藤 浩也（特定医療法人同心会 遠山病院 透析センター 主任）

2-1 日々の生活を振り返り患者の自主性を引き出す事に着目して

○安藤 礼奈(Ns)、山川 裕子、稲吉 たまき、伊藤 節子、小川 栄子、中村 永子、竹重 信
医療法人徳心会 四日市セントラルクリニック

2-2 穿刺針、血液回路のテープレス固定の検討

テープかぶれを発症する患者に超薄型マジックバンドの使用を試みて

○今西 旬子 (Ns)

医療法人 泉澄会 亀田クリニック

2-3 バスキュラーアクセス管理への取り組み ～バスキュラーアクセスマップを作成して～

○山本 香織 (Ns)、坂井 秀幸、相賀 貴子、橋本 千代子

尾鷲総合病院

2-4 抜針対策に対する看護師に意識調査 ～抜針対策シートを作成して～

○本田 靖子 (Ns)¹⁾、太田 徳子¹⁾、奥出 順子¹⁾、匹田 理江¹⁾、小山 和美¹⁾、涌中 悦子¹⁾、高木 幹郎²⁾

1) 三重厚生連 鈴鹿中央総合病院 透析室、2) 同 腎臓内科

2-5 VA の閉塞・感染予防への取り組み ～自己管理について指導を行った～

○鷺見 美子 (Ns)¹⁾、温井 文¹⁾、笠井 裕美¹⁾、白井 洋子¹⁾、松林 千鶴¹⁾、山川 有喜子¹⁾、後藤 健夫¹⁾、高倉 定美¹⁾、辻本 一登¹⁾

亀山市立医療センター

2-6 STS と「VA 機能不全予防の標準ケアプラン」を活用しての結果

○堀 裕子 (Ns)、公野 華子、佐藤 恵里、土橋 千恵、近澤 美紀子、上村 雅実、尾間 勇志、町田 博文

特定医療法人 暁純会 武内病院 人工腎センター

パネルディスカッション 11:30～

司会：小藪 助成 (尾鷲総合病院 副院長)

バスキュラーアクセスについて理解を深めよう

① ボタンホール穿刺について

鈴木 剛久 先生 亀山市立医療センター 臨床工学室

② 透析用留置カテーテルの管理について

中瀬 百合子 先生 厚生連松阪中央総合病院 血液浄化センター

③ 当院におけるエコーを用いた Vascular Access の管理について

藤川 兼一 先生 鈴鹿腎クリニック

透析医療における臨床研究の進め方

伊藤 正幸 先生 中外製薬株式会社 名古屋メディカル推進室

看護師 一般演題3 13:20～14:20

座長：石田 博子(三重大学病院 血液浄化療法部 副師長)

3-1 透析低血圧に使用する50%TZの有用性

○奥山 菜津子(Ns)、西村 えりか、伊藤 禎幸、藤井 ひとみ、菊山 裕佳子、
伊与田 美矢子、小川 明日香、馬場 瑛子、坂田 久美子、藤岡 千幸、伊与田 義信
津みなみクリニック

3-2 平成25年度インフルエンザ発生状況

○宮澤 隆彦(Ns)、岩谷 鶴男
桑名東医療センター

3-3 当院における心不全コントロールのためのドライウェイト設定

○大谷 ひろ子(Ns)、中村 いつ子、畦智 美紀、土谷 比奈子、池田 香里、野尻 友紀子、
下地 則夫、垣野 真奈美、山田 ちゑ、笠井 恵里子、汐崎 くるみ、荒尾 陽子、
前地 三枝、越村 邦夫
医療法人淳風会 熊野路クリニック

3-4 「フットケアから生命を守る」 当院の取り組み

○大村 寿璃(Ns)¹、小西 佐和子¹、上村 陽子¹、奥田 幸子¹、中井 久太夫¹、
谷川 高士²、福岡 秀介²、尾邊 利英³
1) JA 三重厚生連 大台厚生病院、2) 松阪中央総合病院 循環器内科、3) 宮前診療所

3-5 フットケアをより充実させるためのアプローチ —KJ法による問題点と課題の明確化—

○内藤 彩(Ns)、前田 志保、佐藤 恵里、土橋 千恵、近澤 美紀子、上村 雅実、澁谷 和俊
特定医療法人暁純会 武内病院 人工腎センター

3-6 セルフケア(保清、白癬ケア)困難症例への介入を試みて

○中西 弓子(Ns)¹、中村 奈美¹、伊藤 真貴¹、女瀧 美永¹、高森 久子¹、加藤 よし子¹、
伊藤 英明子¹、岩島 重二郎¹、伊藤 豊²、河出 恭雅¹、河出 芳助¹
1) 医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2) 医療法人如水会 四日市腎クリニック

座長：九鬼 弘和（社会福祉法人 恩賜財団 済生会松阪総合病院 医療技術部 臨床工学課 臨床工学技士）

3-1 当院のシャント管理に携わる経験から得た知識と臨床への応用

○柏木 愛(CE)、田中 章則、西山 誠、柴田 守、金正修、原澤 博文
医療法人さくら会 さくらクリニック松阪

3-2 当院におけるボタンホール穿刺の現状

○堤 翔子(CE)¹⁾、奥出 真帆¹⁾、木村 真由香¹⁾、佐藤 勝紀¹⁾、田島 かおり¹⁾、柴田 翔子¹⁾、森 亨子¹⁾、佐々木 太一¹⁾、清水 可奈¹⁾、澁谷 和俊¹⁾、尾間 勇志¹⁾、稲森 次生¹⁾、清原 実千代²⁾、町田 博文²⁾、武内 操²⁾、武内 秀之²⁾
1) 特定医療法人障純会 武内病院 臨床工学部、2) 同 内科

3-3 ボタンホール穿刺により自己穿刺が可能となった1例

○清水 可奈(CE)¹⁾、堤 翔子¹⁾、奥出 真帆¹⁾、木村 真由香¹⁾、佐藤 勝紀¹⁾、田島 かおり¹⁾、柴田 翔子¹⁾、森 亨子¹⁾、佐々木 太一¹⁾、澁谷 和俊¹⁾、尾間 勇志¹⁾、稲森 次生¹⁾、清原 実千代²⁾、町田 博文²⁾、武内 操²⁾、武内 秀之²⁾
1) 特定医療法人障純会 武内病院 臨床工学部、2) 同 内科

3-4 シャントエコーにおける上腕動脈血流量(ABF)と血管抵抗指数(RI)の評価

○加藤 裕介(CE)
JCHO 四日市羽津医療センター

座長：辻本 一登（亀山市立医療センター 臨床工学部）

在宅血液透析のすすめ ～自分らしく生きるために～

畠山 岳士 先生 医療法人社団 第二富田クリニック 臨床工学技士

臨床工学技士 一般演題1 9:20~10:20

座長: 安田 芳樹(JCHO 四日市羽津医療センター 臨床工学部 副技士長)

1-1 複雑な透析治療に対応するために ~当クリニックの取り組み~

○長尾 泰明(CE)、余谷 公義、江崎 浩平、上村 元美、倭 貴之、福井 淳
医療法人 ハートクリニック福井

1-2 透析液変更における酸塩基平衡およびMBD管理への影響の検討
~カーボスターからキングラー4Eへ変更して~

○藤田 佳樹(CE)¹⁾、小林 かおる¹⁾、山本 和昇²⁾、中田 敦博²⁾、伊藤 英明子²⁾、
岩島 重二郎²⁾、伊藤 豊¹⁾、河出 恭雅²⁾、河出 芳助²⁾
1)四日市腎クリニック、2)鈴鹿腎クリニック

1-3 PMMA膜ダイアライザNFを使用して(生体適合性の観点より)

○萩原 啓司(CE)¹⁾、下地 貴晴¹⁾、阿部 晋也¹⁾、稲垣 裕介¹⁾、伊藤 英樹¹⁾、瀬田 直紀¹⁾、
川村 直人²⁾
1)主体会病院 透析センター、2)同 内科

1-4 ニプロ社製FIX-250Sの臨床性能評価

○藤田 圭祐(CE)¹⁾、鬼頭 佳史¹⁾、西口 隆史¹⁾、藤川 兼一¹⁾、三浦 隆史¹⁾、山下 智史¹⁾、
小倉 脩平¹⁾、山本 和昇¹⁾、中田 敦博¹⁾、伊藤 英明子¹⁾、岩島 重二郎¹⁾、伊藤 豊¹⁾²⁾、
河出 恭雅¹⁾、河出 芳助¹⁾
1)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2)医療法人如水会 四日市腎クリニック

1-5 ニプロ社製全自動型患者監視装置(NCV-2)の使用経験

○山中 伸吾(CE)¹⁾、辻本 有花¹⁾、佐藤 真義¹⁾、柴田 洋¹⁾、小嶋 岳人¹⁾、小切間 猛史¹⁾、
山谷 美紗¹⁾、中村 慎佑¹⁾、松本 一統¹⁾、中村 里佳¹⁾、三宅 智紀¹⁾、波田 光司¹⁾、
笹井 直樹¹⁾、板垣 正幸¹⁾、西村 広行²⁾、竹内 敏明²⁾
1)特定医療法人同心会 遠山病院 臨床工学部、2)同 内科

1-6 体組成成分世紀装置BCM(フレゼニウス社製)の有用性

○加藤 由貴(CE)¹⁾、堀 剛大¹⁾、岸田 千明¹⁾、三上 昌志¹⁾、森 由貴²⁾、川村 直人³⁾、
大倉 誉暢²⁾
1)医療法人社団主体会 小山田記念温泉病院 透析センター、2)同 腎臓内科、
3)医療法人社団主体会 主体会病院 内科

2-1 透析患者における筋症状に対するカルニチンの効果

○藤岡 由香里 (CE)、中村 能子、中村 晋也、龍田 京子、渡邊 竜一、向井 賢治
松阪厚生病院

2-2 メトホルミンによる乳酸アシドーシスに対して血液透析が奏功した一例

○岩田 英城 (CE)¹⁾²⁾、山本 晴香¹⁾、山田 昌子¹⁾、鈴木 康夫²⁾、伊藤 貴康²⁾、
藤本 美香²⁾、村田 智博²⁾、石川 英二²⁾
1) 三重大学医学部附属病院 臨床工学部、2) 同 血液浄化部

2-3 中枢神経障害を伴う HUS の一例

○山本 晴香 (CE)¹⁾²⁾、岩田 英城¹⁾、山田 昌子¹⁾、鈴木 康夫²⁾、伊藤 貴康²⁾、
藤本 美香²⁾、村田 智博²⁾、石川 英二²⁾
1) 三重大学医学部附属病院 臨床工学部、2) 同 血液浄化部

2-4 当院における検査マネジメント

○西山 誠 (CE)、田中 章規、柏木 愛、柴田 守、金正修、原澤 博文
医療法人さくら会 さくらクリニック松阪

2-5 停電時マニュアルの再作成（落雷に遭遇して）

○森 寛貴 (CE)¹⁾、佐藤 雅城¹⁾、三林 真也¹⁾、山脇 佑斗¹⁾、早川 武司²⁾、北川 良子³⁾、
中村 太一⁴⁾
1) 地方独立行政法人 桑名西医療センター 臨床工学室、2) 同 看護部、3) 同 内科、
4) 桑名東医療センター 腎臓内科

透析困難症に対するモニタリングと I-HDF の効果

長尾 尋智 先生 メディカルサテライト岩倉 看護部長、透析室長

1-1 体重増加の多いDM-HD患者に対するビクトーザの効果

○福井 淳(Dr)、竹内 正喜
医療法人 ハートクリニック福井

1-2 クエン酸第2鉄の使用経験

○岩島 重二郎(Dr)¹⁾、伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊²⁾、河出 恭雅¹⁾、河出 芳助¹⁾
1)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2)医療法人如水会 四日市腎クリニック

1-3 血液透析患者の高リン血症に対するクエン酸第二鉄水和物の使用経験

○川村 直人(Dr)¹⁾、大倉 誉暢²⁾、森 由貴²⁾
1)主体会病院 内科、2)小山田記念温泉病院 内科

1-4 エポエチンベータペゴル(C.E.R.A.) 月2回投与の検討

○河出 恭雅(Dr)¹⁾、伊藤 英明子¹⁾、伊藤 豊²⁾、岩島 重二郎¹⁾、河出 芳助¹⁾
1)医療法人如水会 鈴鹿腎クリニック、2)医療法人如水会 四日市腎クリニック

1-5 小型軽量エコー装置「Vscan Dual Probe」の透析治療・シャント管理での応用

○伊與田 義信(Dr)、奥山 菜津子、馬場 瑛子、坂田 久美子、藤岡 千幸、伊藤 禎幸、
小川 明日香、西村 えりか、藤井 ひとみ、菊山 裕佳子
津みなみクリニック

1-6 心不全をきたしたCAPD患者の1例

○金井 弘次(Dr)
伊勢赤十字病院

1-7 精神科病棟に入院した重度認知症患者の検討

○齋藤 友季子(Dr)、貴志 直哉、向井 賢司
松阪厚生病院 内科

1-8 十二指腸憩室からの出血を来した透析患者の一例

○西村 広行(Dr)、菅生 昌高、上野 勢津子、岡 聖子、竹内 謙二、竹内 敏明
特定医療法人同心会 遠山病院

1-9 フィッシャー症候群を呈した血液透析患者の一例

○竹重 信(Dr)、大橋 真理、山川 裕子、今村 瞳、中村 永子、早川 歌奈子、橋本 真理
医療法人 徳心会 四日市セントラルクリニック

特別講演

第1会場(臨床第3講義室)

15:10～16:00

座長：亀山市立医療センター 臨床工学部 辻本 一登 先生

在宅血液透析のすすめ ～自分らしく生きるために～

医療法人社団 第二富田クリニック 臨床工学技士

畠山 岳士 先生

ランチョンセミナーのご案内

第1会場（臨床第3講義室）

ランチョンセミナー1 12:20～13:10

協賛：中外製薬株式会社

透析医療における臨床研究の進め方

中外製薬株式会社 名古屋メディカル推進室

伊藤 正幸 先生

第2会場（臨床第2講義室）

ランチョンセミナー2 12:20～13:10

協賛：旭化成メディカル株式会社

座長：森實 篤司 先生（医療法人新生会 新生会第一病院）

透析困難症に対するモニタリングと I-HDF の効果

メディカルサテライト岩倉 看護部長、透析室長

長尾 尋智 先生

〈ランチョンセミナーに関する注意とお願い〉

- ランチョンセミナーは2会場にて行います。
- お弁当は1人1個です。空き箱は会場出口の所定の場所へ捨ててください。
- 座席の数に限りがございます。立ち見になる場合がございますのでご了承ください。

一般演題
抄 録

第52回三重県透析研究会学術集会
プログラム

代表世話人：小藪 助成 尾鷲総合病院 副院長

事務局：三重県透析研究会
三重大学医学部附属病院 血液浄化療法部内
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL：059-231-5403 FAX：059-231-5569
E-mail：renal@clin.medic.mie-u.ac.jp

出版：(株)セカンド
 株式会社セカンド
学会サポート <http://www.secand.jp/>
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025